

県立三次看護専門学校で「看護の心を誓う会」を開催します

～看護のともしび継承と誓い～



1 趣旨

「看護の心を誓う会」は、看護師をめざして広島県立三次看護専門学校に入学した学生が、1年間の学習を修了し、2年次の実習を始める前に、ナイチンゲールのかざした看護のともしびを受け継ぎ、看護師になるという誓いを新たにする会です。

暗闇の中、学校長がかかげる看護のともしびをめざして進み、自らの手にそのともしびを受け継いだ後、クラスごとに看護への誓いを唱和します。

県北地域で看護人材の育成を担う県立三次看護専門学校で開催するこの行事を、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

2 日時

令和6年5月24日（金） 午前10時から11時まで
※9時頃～教員が学生の胸元にコサージュをつけます。

3 場所

広島県立三次看護専門学校 講堂
〒728-0023 三次市東酒屋町10518-1
TEL 0824 - 62 - 5141

4 対象学生

第一看護学科2年生 64名

5 式次第

一部 <看護のともしび継承>

- 1 開会のことば
- 2 看護のともしび継承

二部 <看護の誓い>

- 1 看護の誓い
- 2 学校長お祝いのことば
- 3 看護職の先輩からのことば
- 4 看護学生の先輩からのことば
- 5 「みまもる心」斉唱
- 6 閉会のことば